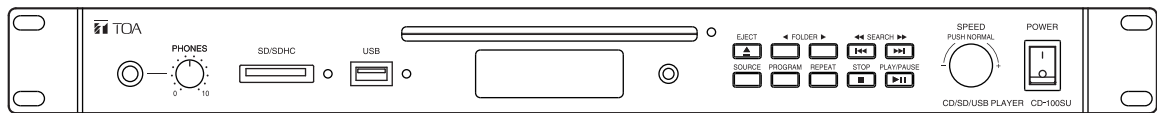




# 取扱説明書

## CD/SD/USB プレーヤー

## CD-100SU



このたびは、TOA CD/SD/USB プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 目次

安全上のご注意	3
概要	5
特長	5
お使いになる前に	6
使用できるメディア	6
音源ファイルの準備	7
音源ファイルの再生の順番	8
各部の名称とはたらき	11
前面	11
後面	12
CD の基本的な再生のしかた	14
USB メモリーの基本的な再生のしかた	16
SD/SDHC カードの基本的な再生のしかた	18
いろいろな再生のしかた (CD、USB メモリー、SD/SDHC カード共通)	20
一時停止のしかた	20
選曲のしかた	21
再生するフォルダーの切り換えかた	22
リピート再生、ランダム再生、イントロ再生のしかた	23
プログラム再生のしかた	24
再生スピードの調節のしかた	30
コンパクトディスク (CD) の取り扱いかた	31
設置のしかた	32
ラックに取り付けるとき	32
卓上に設置するとき	32
接続のしかた	33
付属リモコンの使いかた	34
電池の入れかた	34
使用できる範囲	34
故障かな?と思ったら	35
外観寸法図	37
仕様	38

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

## 表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
 禁止	  強制 電源プラグを抜く



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 設置・据付をするとき

### 水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。  
火災・感電の原因となります。



禁止

### 屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。  
屋外に設置すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。  
また、雨などがかかると、感電の原因となります。



禁止

## 使用するとき

### 万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



電源プラグを抜く

### 液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

### 内部に異物を入れない

本機のメディア挿入口から内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。  
火災・感電の原因となります。



禁止



## 注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容  
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 設置・据付をするとき

#### ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、火災・けがの原因となることがあります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- 本機に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。



強制

### 使用するとき

#### 電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



強制

#### ACアダプターは別売のAD-246を使用する

指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強制

#### 電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れてたりしない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 充電式電池以外は充電しない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (+) と (-) に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

#### 使用するときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、聴力障害などの原因となることがあります。

- 使用する前には音量（ボリューム）を最小にする。
- ヘッドホンの音量を過度に上げない。



強制

## 概要

本機は、音楽 CD（オーディオ CD）や CD-R/RW、USB メモリー、SD/SDHC カードに収録された音源ファイルを再生するためのプレーヤーです。

## 特長

- 豊富なメディアに対応  
音楽 CD のほかに CD-R/RW、USB メモリー、SD/SDHC カードと、豊富なメディアに対応しており、MP3 ファイルも再生できます。
- 振動に強いメディアを採用  
USB メモリー、SD/SDHC カードの音源ファイル再生では、振動・衝撃による音飛びの心配がありません。
- プログラム再生、イントロ再生に対応  
ユーザーが設定した曲の順番で再生できるプログラム再生機能や、各曲を頭から約 10 秒ずつ再生するイントロ再生機能があります。

# お使いになる前に

## ■ 使用できるメディア

本機では、音楽 CD、CD-R/RW、USB メモリー、SD/SDHC カードのうち、後述する条件を満たすメディアを使用できます。また、CD-R/RW、USB メモリー、SD/SDHC カードには音源ファイルが収録されている必要があります。

別途、用意してください。

### 重要

メディアに収録した内容は、必ずパソコンにバックアップをしておいてください。本機の故障や誤操作により、データが失われることがあります。

### ご注意

一部の CD-R/RW、USB メモリー、SD/SDHC カードは、特性や記録状態などにより、本機では使用できない場合があります。そのときは、別の種類のメディアを使用するか、新しいものに取り換えてください。

## ● 使用できる音楽 CD、CD-R/RW

本機は CD 規格で使われているロゴマーク（右記参照）がパッケージなどに明示されているものを使用してください。



### 重要

8 cm のシングル CD および 8 cm CD アダプターは使用できませんので、絶対に入れないでください。取り出しができなくなり、故障の原因となります。

### ご注意

曲と曲の間を継ぎ目なく再生する「ギャップレス再生」には対応していません。ギャップレス CD を再生しても、曲間に 1 秒以下の無音時間が発生します。

## ● 使用できる USB メモリー

USB マスストレージクラス準拠 USB メモリーを使用してください。容量 32 GB までの USB メモリーに対応しています。

## ● 使用できる SD/SDHC カード

- SD/SDHC カードは、SD 規格で使われているロゴタイプ（右記参照）が明示されているものを使用してください。
- 容量 32 GB までの SD/SDHC カードに対応しています。
- MiniSD/SDHC カード、MicroSD/SDHC カードは使用できません。
- SDXC（SD Extended Capacity）規格の SD カードには対応していません。



SD/SDHC ロゴは登録商標です。

## ■ 音源ファイルの準備

CD-R/RW、USB メモリー、SD/SDHC カードに収録する音源ファイルについては、以下のとおり用意してください。

### ● USB メモリーと SD/SDHC カードのフォーマット（初期化）

#### 重要

USB メモリーまたは SD/SDHC カードを使用する場合は、使用する前にフォーマットしてください。フォーマットせずに使用すると、データが破損したり、正常に再生が行われなくなることがあります。

[USB メモリーをフォーマットする場合]

パソコンなどの画面に表示される USB メモリーのアイコンを右クリックしてフォーマットを選び、FAT 形式でフォーマットしてください。NTFS/exFAT は非対応です。

[SD/SDHC カードをフォーマットする場合]

パソコンなどで SD カードフォーマッター\*を使用し、FAT 形式でフォーマットしてください。NTFS/exFAT は非対応です。

\*検索エンジンで「SD カードフォーマッター」と入力して検索し、入手してください。

### ● 音源ファイルのファイル形式

使用できるファイル形式は次の仕様の「MP3」のみです。

#### ご注意

- 下記の条件に合致したものでも、CD-R/RW、USB メモリー、SD/SDHC カードの特性や記録状態などにより、本機では使用できない場合があります。
- 0.5 秒未満または 15 分以上の MP3 ファイルは、再生できないことがあります。

規格	MPEG-1 Audio Layer-3	
拡張子	.mp3	
サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	
ビットレート*1	32 k、40 k、48 k、56 k、64 k、80 k、96 k、112 k、128 k、160 k、192 k、224 k、256 k、320 kbps	
チャンネル	モノラル、ステレオ、ジョイントステレオ	
ファイルサイズ	2 GB 以内	
ファイル名・フォルダー名の最大文字数	ファイル名 : 半角英数字 32 文字 フォルダー名 : 半角英数字 16 文字	
ファイル・フォルダーの最大数*2	[CD-R/RW] ファイル数 : 999 フォルダー数 : 255 [USB メモリー、SD/SDHC カード] ファイル数 : 9999 フォルダー数 : 999	
フォルダー階層の最大数	8 階層	
タグ	規格	ID3 タグ Ver. 2.2、2.3、2.4 *3
	表示する情報	タイトル、アルバム名、アーティスト名
	表示最大文字数	半角英数字、32 文字

\*1 上記対応ビットレートの範囲で VBR 対応。ただし可変ビットレート再生時に時間がずれることがあります。

\*2 認識可能なファイル数を超過すると正常に動作できない場合があります。

\*3 ID3 タグとは、MP3 ファイルに音楽タイトルやアーティスト名などを書き込んだ情報のことです。市販のソフトウェアなどを使用して情報を書き込むことで、各タグに対応した機器などで情報を表示させることができます。本機でも、タグ情報のうち、タイトル・アルバム名・アーティスト名を表示させることができます。ID3 タグ Ver. 2.4 に関しては、文字コード UTF-8 は非対応です。

## ■ 音源ファイルの再生の順番

各音源ファイルは、以下の順番で再生されます。

### ■ ご注意

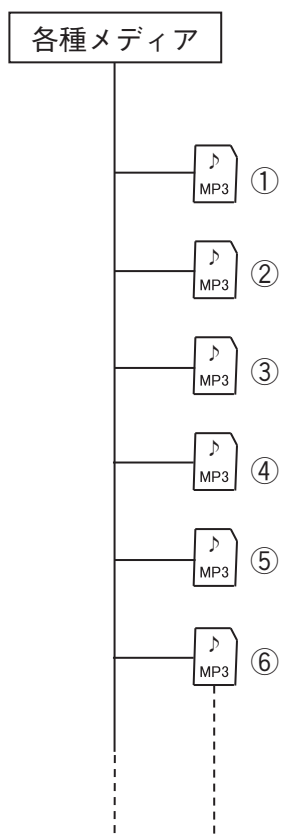
- 音源ファイルのファイル名は、再生順には関係ありません。
- ファイルのプロパティおよびファイル名の編集は、転送前に行ってください。ファイルをメディアに転送した後に編集すると、その再生順序が変更になることがあります。

### ● フォルダを作成しない場合

20 曲より曲数が少ないときは、こちらの方法をお勧めします。

再生の順番 : メディアに転送された順

例) ※上から転送順です。数字は再生の順番を表します。





## ● フォルダーを作成する場合

多数のアルバムを収録される場合は、こちらの方法をお勧めします。

### メモ

フォルダーは最大8階層まで対応しています。

再生の順番 : 1. メディア直下に転送された音楽ファイル



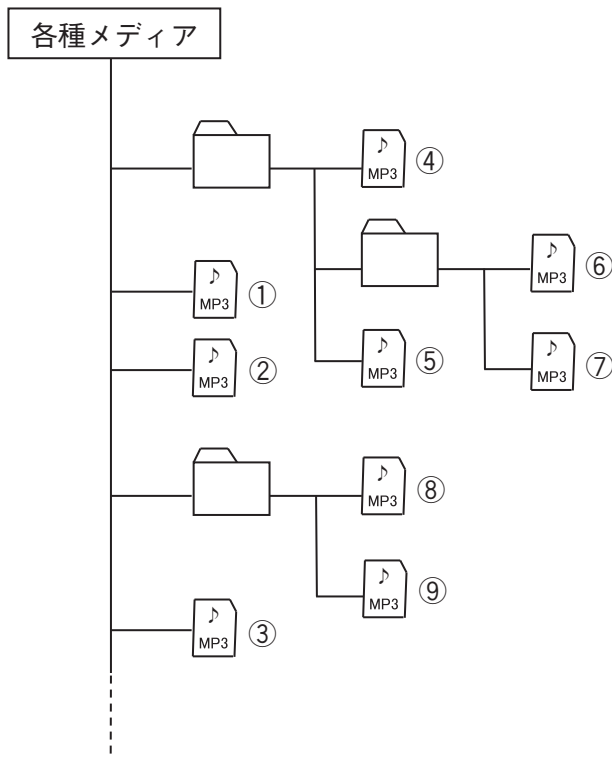
2. メディア直下に作成されたフォルダーに転送された音源ファイル



3. 上記「2」のフォルダー内に作成されたフォルダーに転送された音源ファイル

※フォルダー内での再生順は音源ファイル名ではなく、転送された順になります。

例) ※上から転送順です。数字は再生の順番を表します。



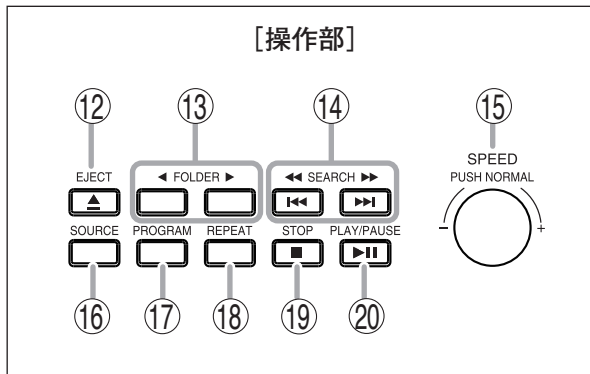
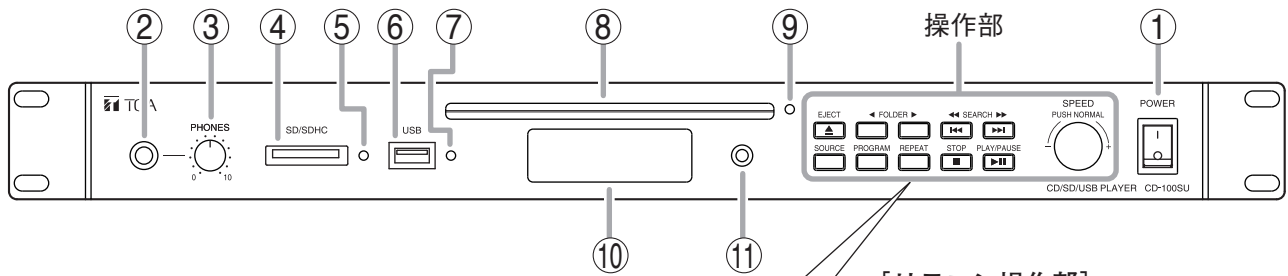
## 著作権について

- テレビ、ラジオ放送、レコード、CD などから録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- したがって、それらから録音した音源を売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては、下記の「日本音楽著作権協会」(JASRAC) へお尋ねください。

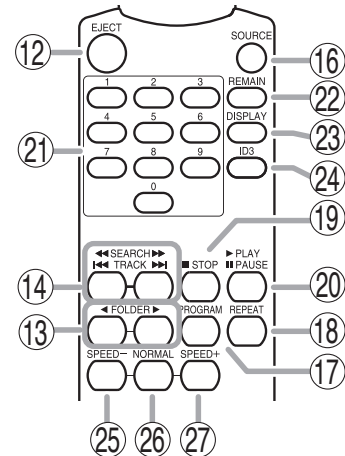
一般社団法人 日本音楽著作権協会 (<https://www.jasrac.or.jp>)

# 各部の名称とはたらき

[前面]



[リモコン操作部]



## 1. 電源スイッチ [POWER]

[I] 側を押すと電源が入り、[O] 側を押すと電源が切れます。

## 2. ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。  
10 mW、32 Ω、ステレオ標準ホンジャック

## 3. ヘッドホン音量つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと小さくなります。

## 4. SD/SDHC カードスロット

SD/SDHC カードを挿入します。

## 5. SD/SDHC カード選択表示灯

SD/SDHC カードを選択しているときに点灯します。

## 6. USB メモリースロット

USB メモリーを挿入します。

## 7. USB メモリー選択表示灯

USB メモリーを選択しているときに点灯します。

## 8. CD スロット

CD を挿入します。

## 9. CD 選択表示灯

CD を選択しているときに点灯します。

## 10. 表示部

操作または動作状態を表示します。(P. 13)

## 11. リモコン受光部

リモコンからのリモコン信号を受光します。

## 12. 取り出しボタン [EJECT]

CD を取り出すときに押します。

## 13. フォルダーボタン [FOLDER ◀、▶]

再生するフォルダーを切り換えるときに押します。

### ご注意

音楽 CD を再生するときは使用できません。

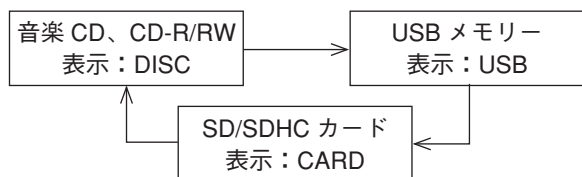
## 14. サーチボタン [SEARCH ◀◀、▶▶]

曲(トラック)の戻り選択をするときは[◀◀]を、送り選択をするときは[▶▶]を押します。再生中に[◀◀]を2秒以上押し続けると早戻し、[▶▶]2秒以上押し続けると早送りになります。

## 15. スピード調節つまみ [SPEED/PUSH NORMAL] (本体のみ)

再生スピードを調節するときに使用します。時計回りに回すと再生スピードが速くなり、反時計回りに回すと遅くなります。つまみを押すと元のスピードに戻ります。

16. メディア切り換えボタン [SOURCE]  
再生するメディアを切り換えるときに押します。押すたびに下記の順番で切り換わります。



17. プログラムボタン [PROGRAM]  
プログラム再生のプログラム内容を設定するときに押します。(P. 24 「プログラム再生のしかた」)

18. リpeatボタン [REPEAT]  
リピート再生やランダム再生をするときに押します。(P. 23 「リピート再生、ランダム再生、イントロ再生のしかた」)

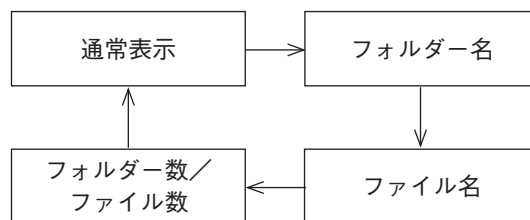
19. 停止ボタン [STOP]  
再生を停止するときに押します。

20. 再生/一時停止ボタン [PLAY/PAUSE]  
メディアの再生を始めるときに押します。再生を一時停止する、または一時停止状態から再生を再開するときに押します。

21. テンキー (リモコンのみ)  
再生時のトラック番号指定や、プログラム入力時のフォルダー番号の選択に使用します。

22. 残時間表示ボタン [REMAIN] (リモコンのみ)  
音楽 CD の再生時に、1 回押すと現在再生中の曲の残り時間を表示部に表示します。もう一度押すと、ディスクの残り時間を表示部に表示します。

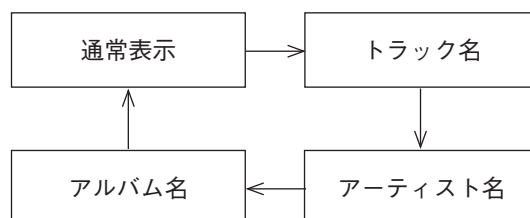
23. 表示ボタン [DISPLAY] (リモコンのみ)  
表示部に現在表示されている情報の種類を切り換えるときに押します。押すたびに下記の順番で切り換わります。音楽 CD の再生時は使いません。



24. ID3 ボタン [ID3] (リモコンのみ)  
表示させる ID3 タグの表示を切り換えるときに押します。押すたびに下記の順番で切り換わります。

**ご注意**

対応している ID3 タグが記録されていない項目は表示されません。



25. スピードマイナスボタン [SPEED-] (リモコンのみ)  
1 回押すごとに再生スピードが 1 段階遅くなります。

26. ノーマルスピードボタン [NORMAL] (リモコンのみ)  
押すと通常の再生スピードになります。

27. スピードプラスボタン [SPEED+] (リモコンのみ)  
1 回押すごとに再生スピードが 1 段階速くなります。

[後面]



28. DC 入力端子  
別売の AC アダプター AD-246 を接続します。

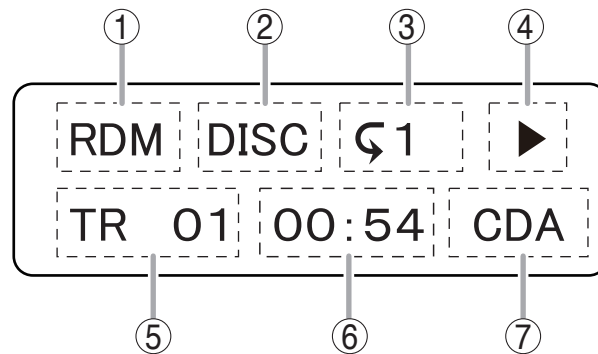
29. コードクランプ  
AC アダプターのプラグが抜け落ちないようにするために、コードを挟み込んで固定します。

30. ライン出力端子 [LINE OUT]  
本機の再生信号を出力します。アンプなどのライン入力端子に接続します。0 dB \* ± 3 dB、10 kΩ、RCA ピンジャック×2、不平衡

\* 0 dB = 1 V

## ● 表示部の名称とはたらき

以下は、代表的な表示の説明です。再生メディアや再生状態によってさまざまな表示のしかたがありますので、詳しくは各操作方法の説明をお読みください。



### 1. 再生モード表示

再生モードを表示します。

- RDM : 全曲ランダム再生
- MEM : プログラム再生
- INT : イン트로再生

### 2. メディア表示 (停止中) / ファイル名表示 (再生中)

停止中と再生中で表示が異なります。

(停止中)

選択されているメディアを表示します。

- DISC : 音楽 CD、CD-R/CD-RW
- USB : USB メモリー
- CARD : SD/SDHC カード

(再生中)

再生中の音源ファイルのファイル名とタグ情報をスクロール表示します。

#### ご注意

CD の再生中は「DISC」と表示されます。

### 3. リピート再生モード表示

現在のリピート再生モードを表示します。

- 空欄 : 全曲再生、イントロ再生
- ↺ 1 : 1 曲リピート
- ↺↺ : 全曲リピート、全曲ランダムリピート
- ↺↺ : フォルダーリピート

### 4. 再生 / 一時停止表示

- ▶ : 再生中
- || : 一時停止中

### 5. トラック番号表示

再生中のトラック (曲) 番号を表示します。

### 6. 再生時間表示

再生中の曲の経過時間を分と秒 (mm:ss) で表示します。

#### ご注意

VBR (可変ビットレート) の MP3 ファイルの再生、早送り、早戻しするときは、固定ビットレートとして時間表示するため、実際の時間表示と大幅なずれが生じることがあります。

### 7. ファイル形式表示

再生中の音源ファイル形式を表示します。

- CDA : 音楽 CD (CD-DA ファイル)
- MP3 : MP3 ファイル

# CD の基本的な再生のしかた

CD に収録された音源を順番に再生する場合の操作のしかたは、次のとおりです。音源の再生の順番は、P. 8 をお読みください。

## 1 ヘッドホン音量つまみを反時計回りに回し切る。

本機がアンプなどに接続されている場合は、接続先の音量も最小にしてください。



### 注意

音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が出力され、聴力障害などの原因になることがあります。

## 2 電源スイッチの [I] 側を押して、電源を入れる。

表示部のバックライトが点灯します。

### ご注意

メディアが見つからない場合は、表示部に「NO DISC」と表示され、メディアの挿入待ち状態になります。

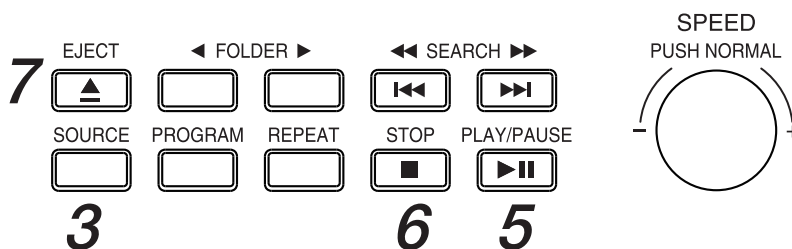
## 3 メディア切り換えボタンを押して、「DISC」を選択する。

CD が選択され、再生できる状態になります。

DISC

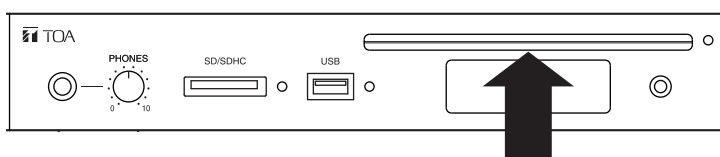
メ モ

メディア切り換えボタンを押すたびに、メディアは下記のとおり切り換わります。



## 4 CDをCDスロットに挿入する。

ディスクの印刷面（レーベル面）を上にして入れてください。



音楽CD（CD-DA）の場合は、表示部に総トラック数および総再生時間が表示されて停止状態になります。CD-R/RW（MP3 ファイル）の場合は、表示部に総フォルダー数と総トラック数が表示されて停止状態になります。

メモ

CD-R/RWにCD-DA形式として収録されている場合は、音楽CDと同じ表示になります。

音楽CD（CD-DA）の場合

DISC  
TR 20 40:56 CDA

CD-R/RW（MP3）の場合

DISC  
09 0020

ご注意

- ギャップレス再生には対応していません。ギャップレスCDを再生しても、曲間に1秒以下の無音時間が発生します。
- 電源が入っていない状態およびすでにCDが入っている状態では、CDを入れることはできません。
- シングルCD（8 cm CD）は使用できません。取り出せなくなるおそれがあります。
- 他のメディアが選択されている状態でCDを挿入しても、CDが再生できる状態にはなりません。

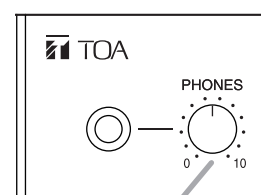
## 5 再生／一時停止ボタンを押す。

1曲目から再生を開始します。

DISC  
TR 01 00:01 CDA

メモ

ヘッドホンを使用する場合は、ヘッドホン音量つまみで音量を調節してください。



ヘッドホン音量つまみ

## 6 再生を停止させるときは、停止ボタンを押す。

再生が停止します。

DISC  
TR 20 40:56 CDA

## 7 取り出しボタンを押して、CDを取り出す。

CDがCDスロットから排出されますので、まっすぐに引き抜いてください。

ご注意

CDが排出された状態で10秒経つと、自動的にCDを引き込みます。

# USB メモリーの基本的な再生のしかた

USB メモリーに収録された音源を順番に再生する場合の操作のしかたは、次のとおりです。音源の再生の順番は、P. 8 をお読みください。

## 1 ヘッドホン音量つまみを反時計回りに回し切る。

本機がアンプなどに接続されている場合は、接続先の音量も最小にしてください。



### 注意

音量を最小にせずに電源を入れると、突然大きな音が出力され、聴力障害などの原因になることがあります。

## 2 電源スイッチの [I] 側を押して、電源を入れる。

表示部のバックライトが点灯します。

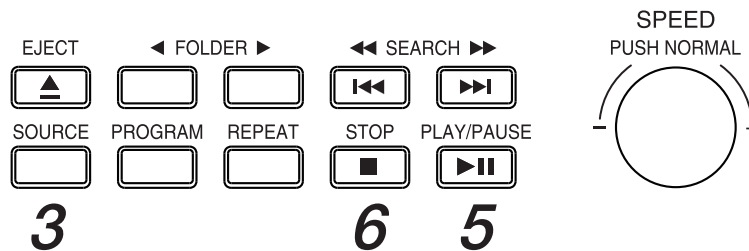
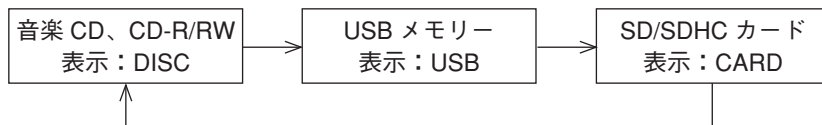
## 3 メディア切り換えボタンを押して、「USB」を選択する。

USB メモリーが選択され、再生できる状態になります。

USB

メモ

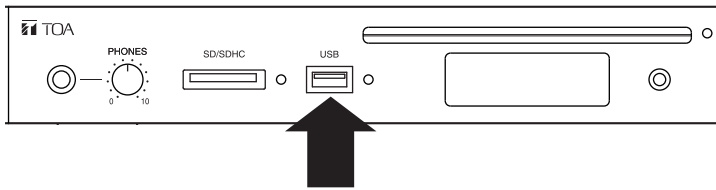
メディア切り換えボタンを押すたびに、メディアは下記のとおり切り換わります。





## 4 USB メモリーを USB メモリースロットに挿入する。

USB 端子の向きに気をつけて、USB メモリースロットに入れ、奥まで差し込んでください。



表示部に総フォルダー数と総トラック数が表示されて停止状態になります。

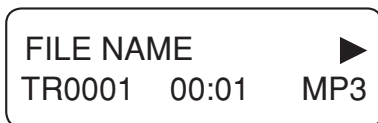


### ご注意

- USB メモリースロットに USB メモリー以外のもの（携帯音楽プレーヤーなど）を挿入しないでください。機器の故障の原因となります。
- 他のメディアが選択されている状態で USB メモリーを挿入しても、USB メモリーが再生できる状態にはなりません。

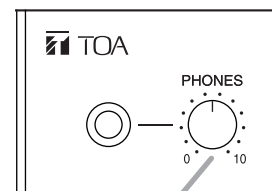
## 5 再生／一時停止ボタンを押す。

1 曲目から再生を開始します。



### メモ

ヘッドホンを使用する場合は、ヘッドホン音量つまみで音量を調節してください。



ヘッドホン音量つまみ

## 6 再生を停止させるときは、停止ボタンを押す。

再生が停止します。



## 7 USB メモリーをまっすぐに引き抜いて取り外す。

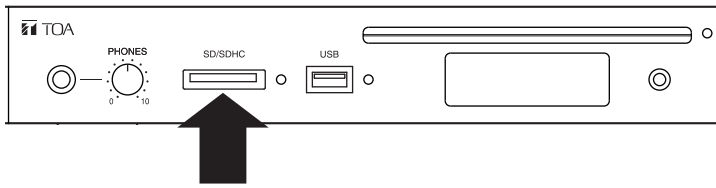
### ご注意

再生中に USB メモリーを取り外すと収録されているデータが破損することがあります。

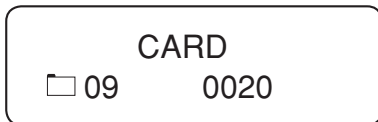


## 4 SD/SDHC カードを SD/SDHC カードスロットに挿入する。

カードのラベル面を上にして、SD/SDHC カードスロットに入れ、奥まで差し込んでください。



表示部に総フォルダー数と総トラック数が表示されて停止状態になります。

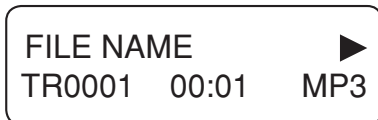


### ご注意

他のメディアが選択されている状態で SD/SDHC カードを挿入しても、SD/SDHC カードが再生できる状態にはなりません。

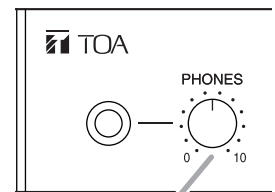
## 5 再生／一時停止ボタンを押す。

1 曲目から再生を開始します。



### メモ

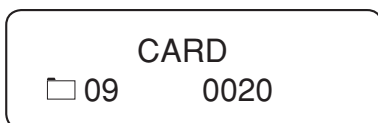
ヘッドホンを使用する場合は、ヘッドホン音量つまみで音量を調節してください。



ヘッドホン音量つまみ

## 6 再生を停止させるときは、停止ボタンを押す。

再生が停止します。



## 7 SD/SDHC カードを取り外す。

7-1 SD/SDHC カードを奥まで押し込み、ロックを外す。

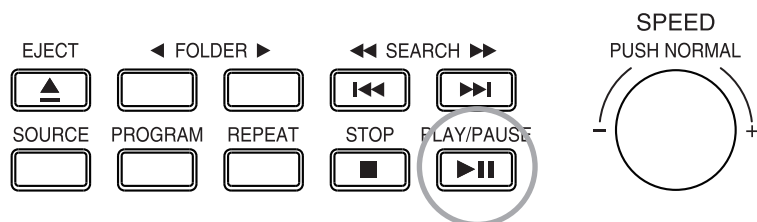
7-2 SD/SDHC カードをまっすぐに引き抜く。

### ご注意

再生中に SD/SDHC カードを取り外すと収録されているデータが破損することがあります。

# いろいろな再生のしかた (CD、USB メモリー、SD/SDHC カード共通)

## ■ 一時停止のしかた



手順：再生中に再生／一時停止ボタンを押す。

ボタンを押した位置で再生を一時停止します。

一時停止中は、再生時間表示が点滅します。



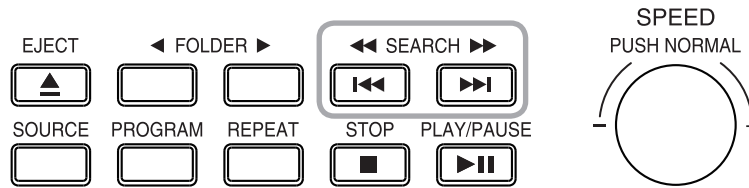
一時停止中に再生／一時停止ボタンを押すと、一時停止していた位置から再生を再開します。

## ■ 選曲のしかた

再生中に次の曲や前の曲に移動したいときは、サーチボタン [◀◀、▶▶] を押します。

メモ

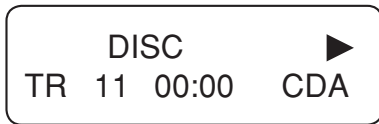
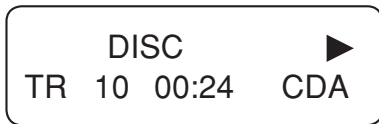
停止中にサーチボタン [◀◀、▶▶] を押すと、曲番号が次や前に変わります。



### ● 次の曲の頭に移動したいとき

手順：サーチボタン [▶▶] を押す。

次の曲の頭へ移動します。



メモ

最後の曲で押すと、最初の曲の頭に移動します。

### ● 再生中の曲または前の曲の頭に移動したいとき

サーチボタン [◀◀] を押す	再生開始後 2 秒以上経ってから押したとき	再生中の曲の頭に移動します。  DISC ▶ TR 10 00:24 CDA  ↓  DISC ▶ TR 10 00:00 CDA
	再生開始後 2 秒未満に押したとき	1 つ前の曲の頭に移動します。  メモ 最初の曲で押した場合は、最後の曲の頭に移動します。

## ● 早送りしたいとき

手順：サーチボタン [▶▶] を 2 秒以上押し続ける。

早送りになります。

押すのをやめた位置から再生を開始します。

### ご注意

MP3 ファイルの場合、早送り中は音声は出力されません。

## ● 早戻ししたいとき

手順：サーチボタン [◀◀] を 2 秒以上押し続ける。

早戻しになります。

押すのをやめた位置から再生を開始します。

### ご注意

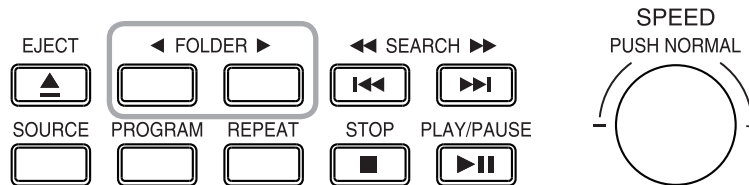
MP3 ファイルの場合、早戻し中は音声は出力されません。

## ■ 再生するフォルダーの切り換えかた

再生するフォルダーを切り換えたいときは、フォルダーボタン [◀、▶] を押します。

### ご注意

ランダム再生 (P. 23) をしているときは、フォルダーの切り換えはできません。



## ● 次のフォルダーに切り換える

フォルダーボタン [▶] を押す	再生中に押したとき	次のフォルダー内の 1 曲目を再生します。
	停止中に押したとき	次のフォルダーに表示が切り換わります。

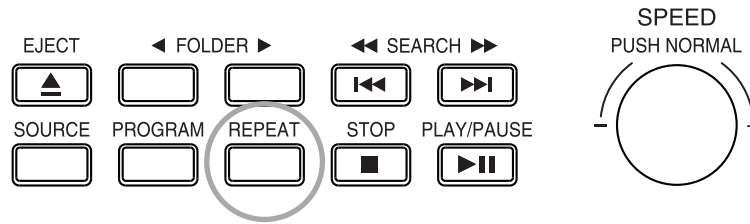
## ● 前のフォルダーに切り換える

フォルダーボタン [◀] を押す	再生中に押したとき	前のフォルダー内の 1 曲目を再生します。
	停止中に押したとき	前のフォルダーに表示が切り換わります。

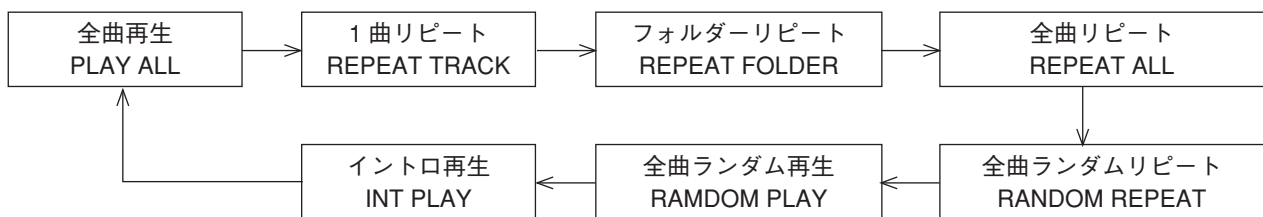
## ■ リピート再生、ランダム再生、イントロ再生のしかた

下記の方法で再生をしたいときは、リピートボタンを押します。

- リピート再生：音源を繰り返し再生します。
- ランダム再生：ランダムに（無作為に）曲を再生します。
- イントロ再生：各曲の頭を10秒ずつ再生します。



リピートボタンを押すたびに、リピート再生とランダム再生は下記のとおりに切り換わります。



各再生方法の動作のしかたは下記のとおりです。

再生方法		動作のしかた
名称	表示	
全曲再生	空欄	メディア内の曲をすべて再生した後、停止します。
1曲リピート	↻1	再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダールリピート	☐↻	フォルダール内の曲をすべて再生し、一巡すると先頭の曲へ戻りフォルダールリピート再生を継続します。
全曲リピート	↻	メディア内の曲をすべて再生し、一巡すると先頭の曲へ戻り全曲リピート再生を継続します。
全曲ランダムリピート	RDM ↻	すべての曲をランダムに再生し、一巡すると先頭の曲へ戻り全曲ランダムリピート再生を継続します。
全曲ランダム再生	RDM	メディア内のすべての曲をランダムに再生し、一巡すると停止します。
イントロ再生	INT	メディア内の曲をすべて頭から10秒ずつ再生した後、停止します。

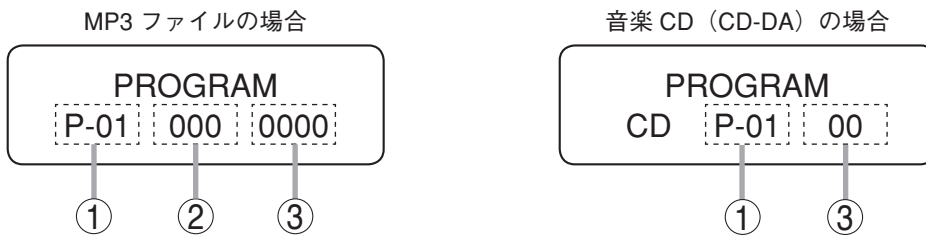
### ご注意

- 音楽CDを再生しているときは、フォルダールリピート再生はできません。
- 再生が停止すると、全曲再生モードにリセットされます。
- 再生中に全曲ランダムリピート再生および全曲ランダム再生を設定した場合、リピートボタンを押したときに再生している曲は、再生が一巡する間にもう一度再生されます。他の曲は、再生が一巡する間には1度しか再生されません。

## ■ プログラム再生のしかた

本機では、最大で 64 曲を任意の順番で登録し再生することができます。また、登録したプログラムを確認したり、変更したりすることもできます。

プログラム再生するときに必要な表示は、次の箇所です。



1. プログラム番号表示
2. フォルダ番号表示
3. 曲番号表示

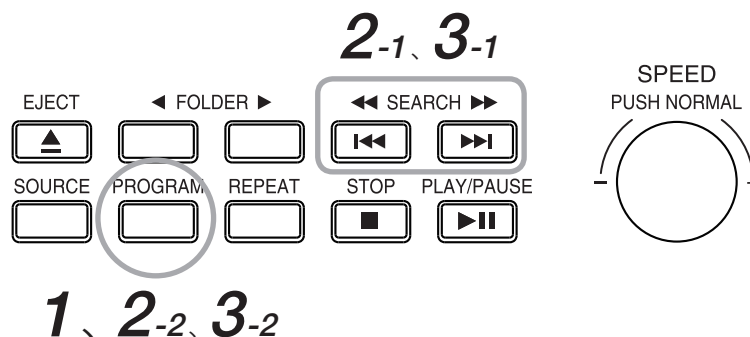
### ご注意

- 複数のメディアを使用したプログラム再生はできません。
- プログラム再生の各操作を行っているときに、「プログラム内容の消去のしかた」( P. 28)にある操作をすると、プログラムに登録された内容はすべて消去されます。

### メモ

操作せずに 20 秒経つと、プログラムに登録された内容を残したまま、総フォルダ数と総曲数を表示し、停止状態になります。

## ● プログラムの登録のしかた



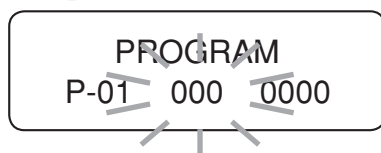
※ MP3 ファイルの場合の表示例を中心に説明します。

### 1 停止中にプログラムボタンを押す。

表示がプログラム登録画面になります。

MP3 ファイルの場合は、フォルダ番号表示が点滅します。

フォルダを作成していないときもフォルダ番号表示が点滅します。そのときは、フォルダ番号「001」を選択してください。

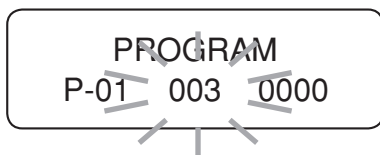


音楽 CD の場合は、手順 3 に進んでください。



## 2 プログラムしたい曲のフォルダーを指定する。

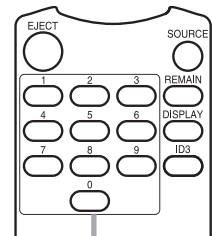
2-1 サーチボタンを何回か押してプログラムしたい曲のフォルダー番号を選択する。



メモ

フォルダー番号の選択は、リモコンのテンキーでもできます。

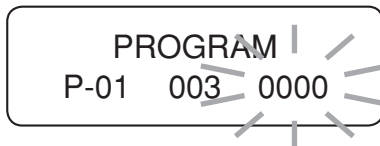
- 5 番を選択するとき  
数字のボタン「5」を押します。
- 10 番を選択するとき  
数字のボタンを「1」「0」の順番で押します。
- 125 番を選択するとき  
数字のボタンを「1」「2」「5」の順番で押します。



テンキー

2-2 プログラムボタンを押す。

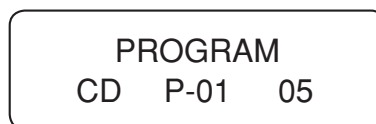
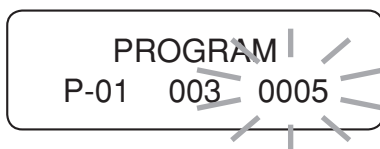
フォルダーが指定され、曲番号表示が点滅します。



## 3 プログラムしたい曲を指定する。

3-1 サーチボタンを何回か押してプログラムしたい曲番号を選択する。

音楽 CD (CD-DA) の場合の表示



メモ

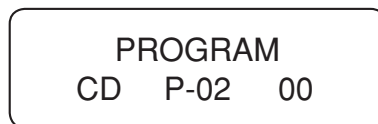
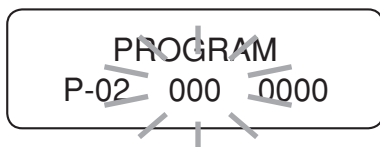
曲番号の選択は、リモコンのテンキーでもできます。(P. 25、手順 2-1 のメモ)

3-2 プログラムボタンを押す。

表示された曲の登録が完了しました。

プログラム番号表示が1つ進み、フォルダー番号表示が点滅します。

音楽 CD (CD-DA) の場合の表示

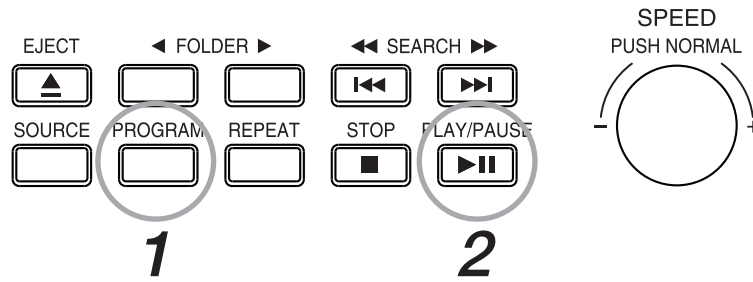


## 4 手順 2、3 (音楽 CD の場合は手順 3 のみ) を繰り返して、必要な曲を登録する。

最大で 64 曲を登録できます。

必要な曲をすべて登録すれば完了です。

## ● プログラムの再生のしかた



あらかじめプログラムを登録しておいてください。(P. 24)

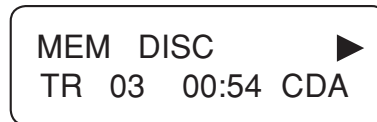
**1** PROGRAM と表示されていないときは、プログラムボタンを押す。

**2** 再生／一時停止ボタンを押す。  
プログラムに登録された内容が再生されます。

MP3 ファイルの場合



音楽 CD (CD-DA) の場合



プログラムに登録された内容をすべて再生すると、総フォルダー数と総曲数を表示し、停止状態になります。

MP3 ファイルの場合



音楽 CD (CD-DA) の場合

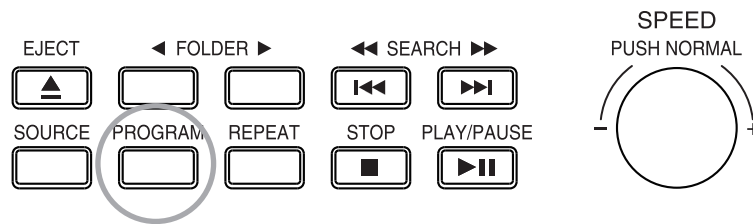


メモ

- プログラムの再生を途中で停止するときは、停止ボタンを押します。そのときも、総フォルダー数と総曲数を表示し、停止状態になります。
- プログラムに登録された内容が消去される (P. 28) まで何度でも再生できます。

## ● プログラムの確認のしかた

プログラムに登録された内容を確認できます。



手順：プログラム登録の完了後に、プログラムボタンを押す。

プログラムボタンを押すたびに、登録したプログラムが登録された順番に表示されます。

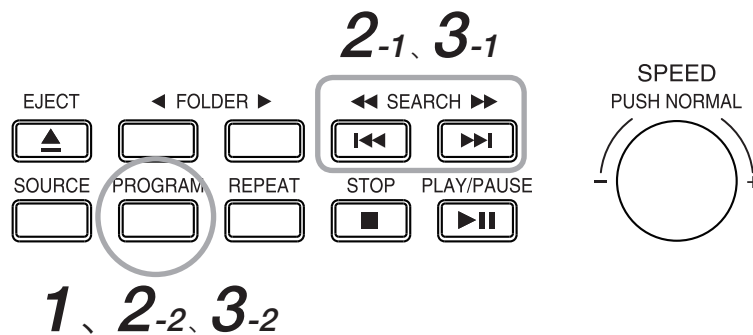


## ● プログラムの変更のしかた

プログラム登録された内容を変更できます。曲を追加することもできます。

### ご注意

一旦プログラムに登録された曲数を減らすことはできません。



※ MP3 ファイルの場合の表示例を中心に説明します。

**1** プログラム登録の完了後に、プログラムボタンを何回か押して変更したいプログラム番号を表示させる。

プログラムボタンを押すたびに、登録したプログラムが登録された順番に表示されます。  
フォルダー番号表示が点滅します。



音楽 CD の場合は、手順 3 に進んでください。

## 2 フォルダ番号を変更する。

2-1 サーチボタンを何回か押してフォルダ番号を変更する。



### ご注意

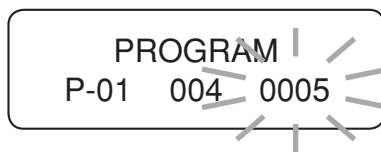
フォルダ番号を「000」に変更することはできません。

### メモ

フォルダ番号の変更は、リモコンのテンキーでもできます。(P. 25、手順 2-1 のメモ)

2-2 プログラムボタンを押す。

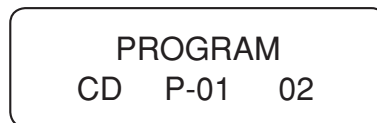
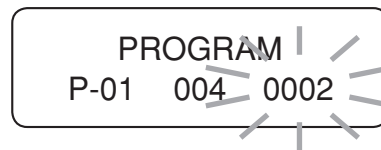
フォルダが変更され、曲番号表示が点滅します。



## 3 曲番号を変更する。

3-1 サーチボタンを何回か押して曲番号を変更する。

音楽 CD (CD-DA) の場合の表示



### ご注意

曲番号を「0000」に変更することはできません。

### メモ

曲番号の変更は、リモコンのテンキーでもできます。(P. 25、手順 2-1 のメモ)

3-2 プログラムボタンを押す。

1 曲分の変更が完了しました。

4 他に変更したい内容があるときは、手順 1 ~ 3 (音楽 CD の場合は手順 1 と 3) を繰り返す。  
必要な変更をすべて行えば完了です。

## ● プログラム内容の消去のしかた

以下の操作をすると、プログラム再生状態から抜けて、プログラムに登録した内容がすべて消去されます。

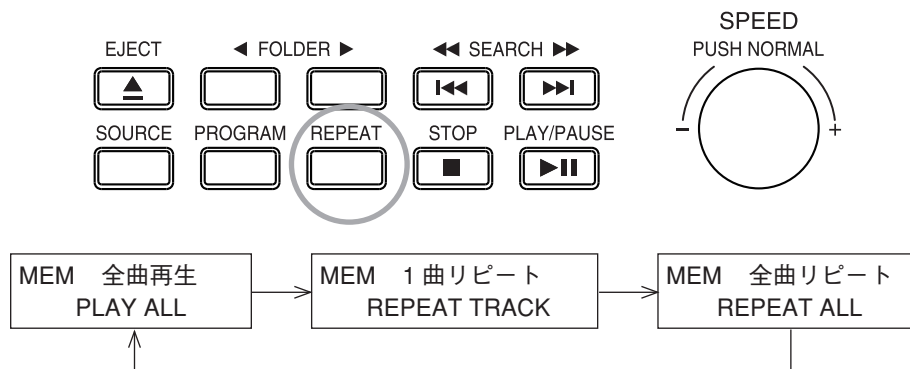
- プログラムの登録、確認、変更をしているときに、停止ボタンを押す。
- メディア切り換えボタンを押す。
- プログラム登録を行ったメディアを取り外す。
- 電源を切る。

### ご注意

一旦消去された内容は、復旧できません。

## ● プログラム再生中のリピート再生の切り換えかた

プログラムに登録した内容をリピートして再生することができます。  
プログラム再生中にリピートボタンを押すと、下図のようにリピート再生のしかたが切り換わります。



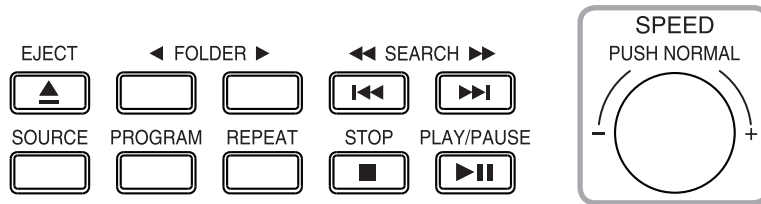
各リピート再生の動作のしかたは下記のとおりです。

リピート再生		動作のしかた
名称	表示	
全曲再生	空欄	プログラムに登録した曲をすべて再生した後、停止します。
1曲リピート	↺1	再生中の曲を繰り返し再生します。
全曲リピート	↺↻	プログラムに登録した曲をすべて再生し、一巡すると先頭の曲へ戻り再生を継続します。

## ■ 再生スピードの調節のしかた

### ● 再生スピードを調節する

再生スピードを±10段階で調節できます。



手順：スピード調節つまみを回す。

時計回りに回すと再生スピードが速くなります。  
反時計回りに回すと再生スピードが遅くなります。

### ■ ご注意

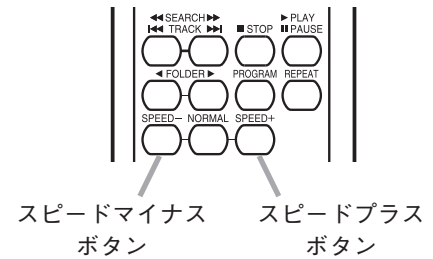
スピードを調節すると、音程もスピードに比例して変化します。

### ■ メモ

リモコンのスピードマイナスボタンまたはスピードプラスボタンでも調節できます。

スピードマイナスボタンを1回押すと、再生スピードが1段階遅くなります。

スピードプラスボタンを1回押すと、再生スピードが1段階速くなります。



### ● 再生スピードを元に戻す

手順：再生中または一時停止中に、スピード調節つまみを押す。

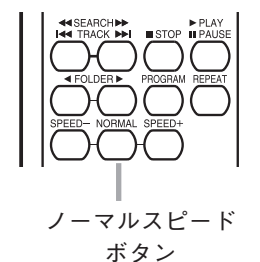
元のスピードに戻ります。

### ■ メモ

● 次の場合もスピードが元に戻ります。

- ・電源を切る
- ・メディアを切り換える

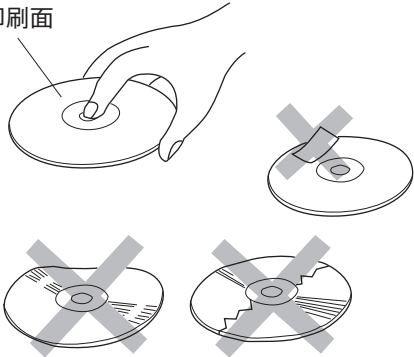
● リモコンのノーマルスピードボタンを押しても元のスピードに戻せます。



# コンパクトディスク（CD）の取り扱いかた

コンパクトディスクの汚れ、ごみ、傷、そりなどが音飛びや音質の低下など誤動作の原因となることがあります。美しい音で楽しめるよう次のことにご注意ください。

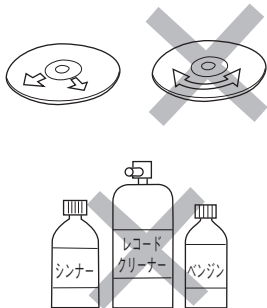
印刷面



- ディスクを持つときは、演奏面をできるだけさわらないようにしてください。
- 印刷面や演奏面に、紙やシールなどを貼り付けたり傷を付けたりしないようにしてください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたりしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり本機が故障したりする原因となることがあります。
- 演奏中のディスクは高速回転しますので、ひびのついたディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。



- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車の中などは、かなり高温になりますので放置しないでください。
- CD-R/RW に書き込まれたものは特に直射日光に当てないように保管してください。



- 使用する前に演奏面に付いたほこり、ごみ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- レコードクリーナー、帯電防止剤などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので使用しないでください。

## ● 12 cm CD と 8 cm CD について

コンパクトディスクには、直径の大きさにより 12 cm タイプと 8 cm タイプの 2 種類があります。本機では、8 cm CD および 8 cm CD アダプターは使用できません。8 cm CD および 8 cm CD アダプターを挿入すると、取り出しができなくなることがあります。

- 市販のレンズクリーナーディスクは使用しないでください。

# 設置のしかた

## ■ ラックに取り付けるとき

付属のラック取付ねじを使用して取り付けてください。

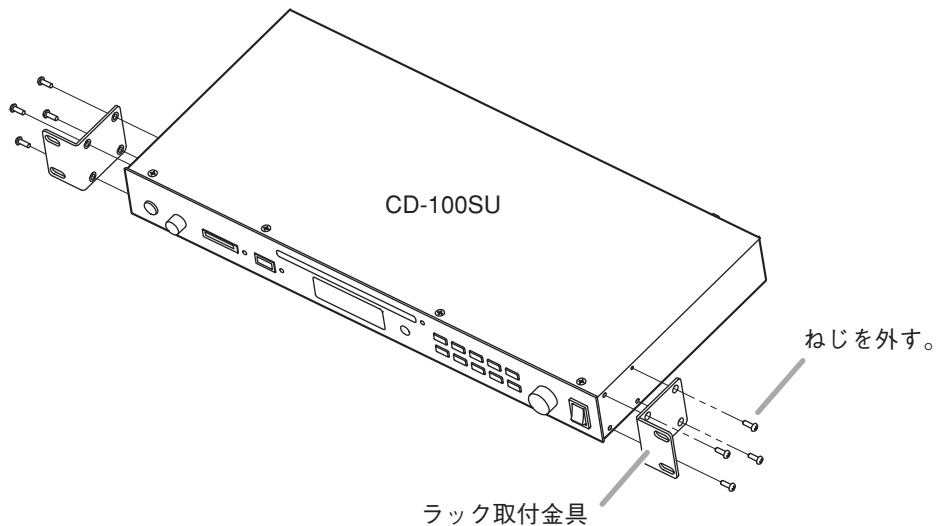


### 注意

付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。  
ラックに合ったねじをご使用ください。  
守らないと、火災・けがの原因となることがあります。

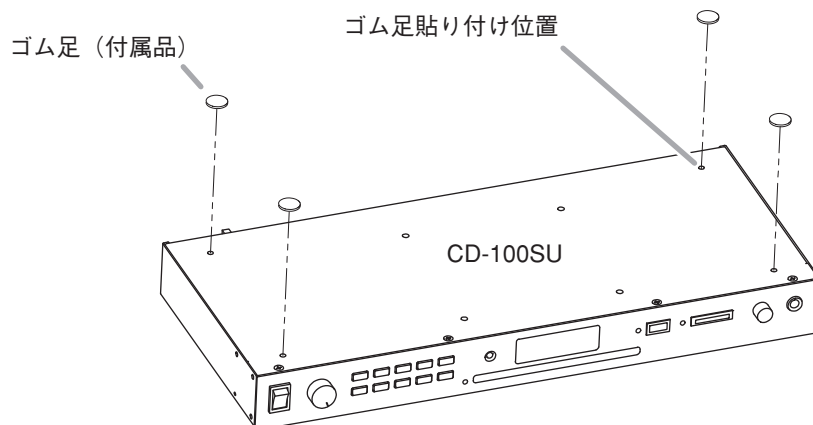
## ■ 卓上に設置するとき

**1** ねじを外してラック取付金具を外す。



**2** ねじを元どおり取り付け。

**3** 付属のゴム足を4カ所に貼り付ける。  
ゴム足貼り付け位置を目安に貼り付けてください。

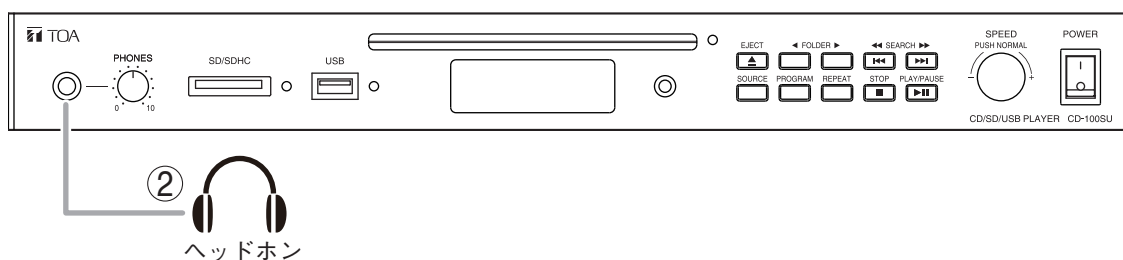




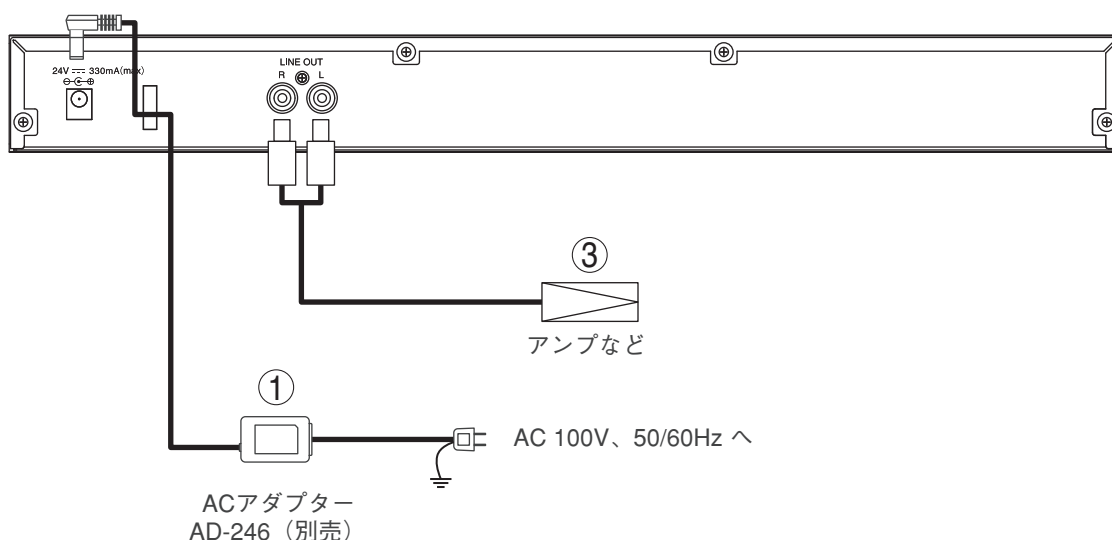
# 接続のしかた

本機に、アンプなどを次のように接続します。

## [前面]



## [後面]



### ① ACアダプターの接続

別売の AC アダプター AD-246 を、DC 入力端子に接続します。

## ⚠ 注意

AC アダプターは別売の AD-246 を使用してください。  
それ以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

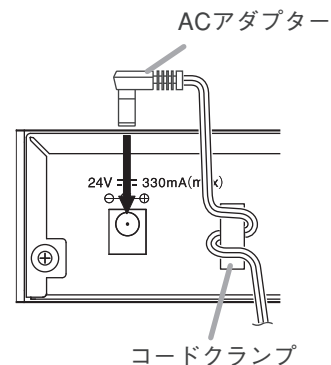
AD-246 のプラグが抜けないように、右図のようにコードクランプに固定してください。

### ② ヘッドホンの接続

市販のヘッドホン、ヘッドホンジャックに接続します。  
ヘッドホン出力仕様：10 mW、32 Ω、ステレオ標準ホンジャック

### ③ アンプなどの接続

アンプやミキサーなどを、ライン出力端子に接続します。  
ライン出力仕様：0 dB \* ± 3 dB、10 kΩ、RCA ピンジャック×2、不平衡



メ モ

接続先の入力がモノラルのときは、本機の L 側に接続してください。

\* 0 dB = 1 V

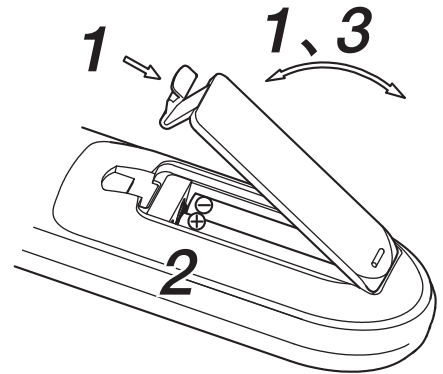
# 付属リモコンの使いかた

付属のリモコンには、本体と同じ名称のボタンがあります。

本書では基本的に本体のボタンでの操作方法を説明しています。リモコンで操作するときは、「各部の名称とはたらき」(P. 11)をお読みいただき、リモコンで該当するボタンを押してください。

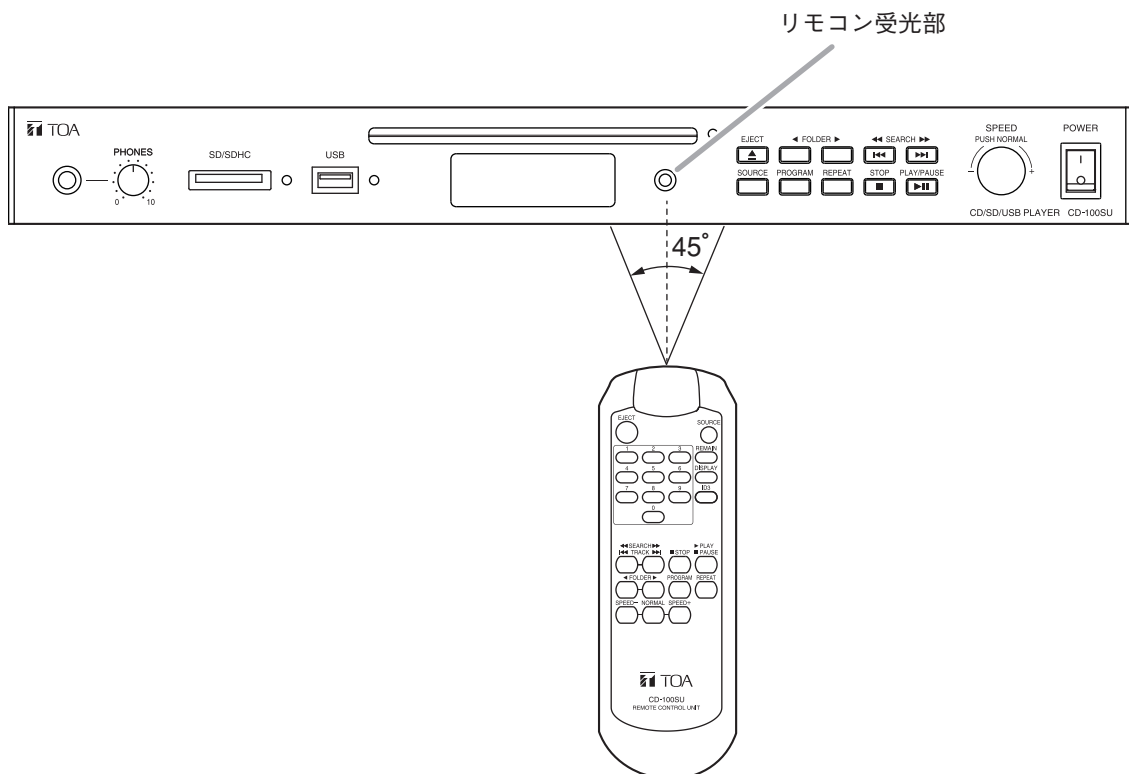
## ■ 電池の入れかた

- 1 つめを押しながら電池カバーを開ける。
- 2 極性を合わせて単4乾電池×2本を入れる。
- 3 電池カバーを元に戻す。



## ■ 使用できる範囲

付属のリモコンからは、正面方向を中心にして  $45^{\circ}$  (中心から両側  $22.5^{\circ}$ ) の範囲に赤外線信号が出力されます。本体のリモコン受光部がこの範囲内になるようにしてお使いください。



## 故障かな？と思ったら

症状	点検項目	処置
まったく動作しない。	電源が接続されていますか？	別売の AC アダプターで、コンセントに接続してください。
	表示部が点灯していますか？	電源スイッチの [I] 側を押して、電源を入れてください。
演奏時間は進んでいるのに、ヘッドホンから音声が出てこない。	ヘッドホン音量つまみが「0」になっていませんか？	適切な音量に調節してください。
曲名などが文字化けして表示される。	全角文字で入力していませんか？	半角英数字で入力してください。
	ID3 タグが Ver. 2.4 で、文字コードの設定が「UTF-8」になっていませんか？	ID3 タグを Ver. 2.3 にして曲名などを入力するか、文字コードの設定を「UTF-16」にしてください。

[CD を使用するとき] ※点検項目欄の [xxx] は、表示部の表示です。

症状	点検項目	処置
まったく動作しない。 CD を認識しない。 再生できない。	CD が入っていますか？ [NO DISC]	CD を挿入してください。
	CD を裏表逆に入れていませんか？ [NO DISC]	CD のレーベル面を上にして挿入してください。
	CD-R/RW に転送した音源ファイルのデータ形式は正しいですか？ [NO FILE]	MP3 形式の音源ファイルを使用してください。(P. 7)
CD が入らない。	すでに、ディスクが1枚入っていませんか？	入っているディスクを取り出してから次のディスクを入れてください。
	表示部に [ERROR] と表示されていませんか？	CD が途中で引っ掛かっているため、挿入できていません。取り出しボタンを押して CD を取り出し、再度挿入してください。
CD が取り出せない。	電源が極端に変動しませんでしたか？	電源変動が原因の誤動作により取り出せなくなったことが考えられます。 ドライバーなどで無理に取り出さず、販売店にご相談ください。
音飛びする。 ノイズなどが入る。	CD がひどく汚れていませんか？	ディスクのクリーニングをしてください。(P. 31)
	CD が不良ではありませんか？	他の CD を再生してみてください。 良くなれば、CD の不良が考えられます。
	CD-R/RW を使用していませんか？	データ書き込みの状態や使用メディアの条件などにより、CD-R/RW は正常に再生できない場合があります。 正常に再生できるものと交換してください。

[USB メモリーを使用のとき] ※ 点検項目欄の [xxx] は、表示部の表示です。

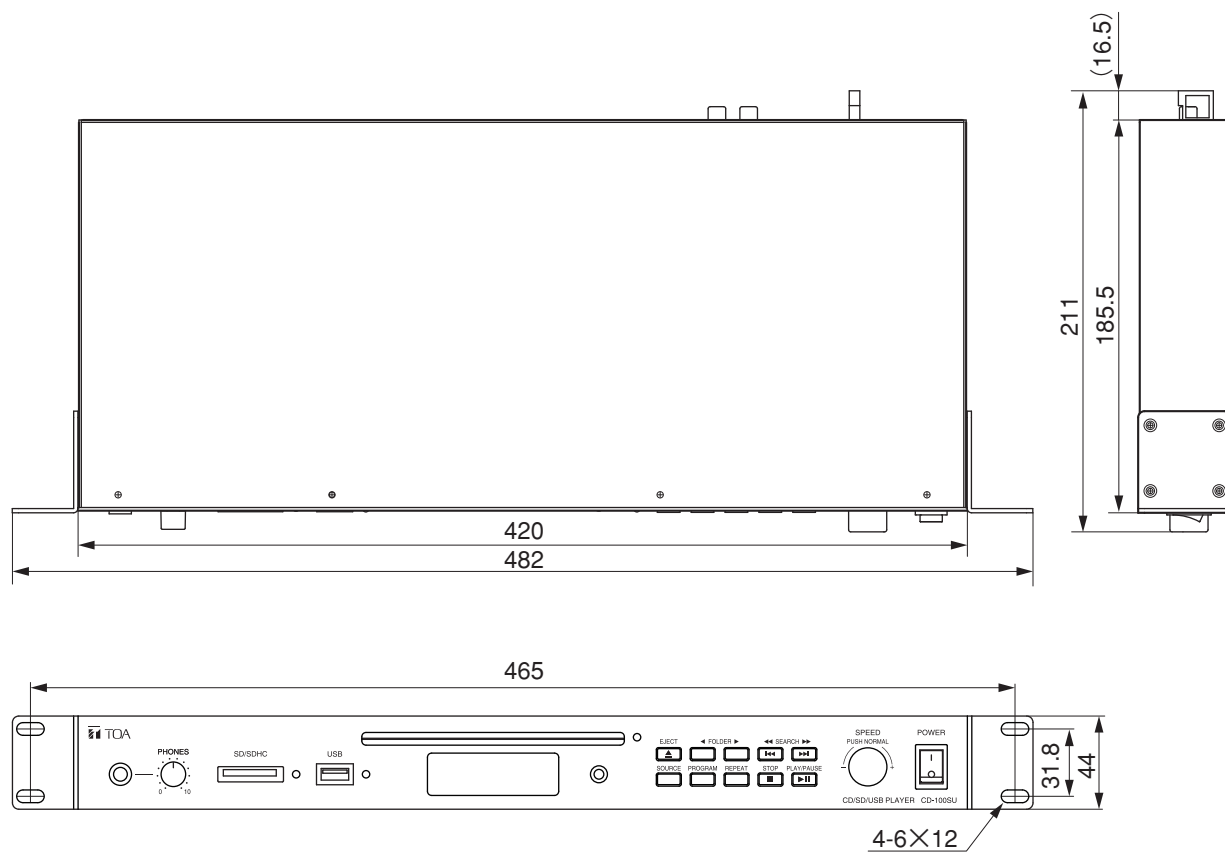
症状	点検項目	処置
まったく動作しない。 USB メモリーを認識しない。 再生できない。	USB メモリーが USB メモリースロットに挿入されていますか？ [NO USB]	USB メモリーを挿入してください。
	USB メモリーに転送した音源ファイルのデータ形式は正しいですか？ [NO FILE]	MP3 形式の音源ファイルを使用してください。(P. 7)
	USB メモリーのフォーマット形式は正しいですか？ [NO FILE]	FAT 形式でフォーマットしてください。NTFS/exFAT は非対応です。(P. 7)
	パスワードロック機能付きの USB メモリーを使用していますか？ [NO FILE]	パスワードロック機能なしの USB メモリーを使用してください。
	USB メモリー以外を挿入していませんか？ [ERROR]	その USB 機器を外してください。外しても元に戻らない場合は、販売店にご相談ください。
USB メモリーが挿入できない。	USB メモリーの USB 端子の向きを逆にして挿入していませんか？	USB 端子の向きを確認し、向きを合わせて挿入して下さい。

[SD/SDHC カードを使用のとき] ※ 点検項目欄の [xxx] は、表示部の表示です。

症状	点検項目	処置
まったく動作しない。 SD/SDHC カードを認識しない。 再生できない。	SD/SDHC カードが SD/SDHC カードスロットに挿入されていますか？ [NO CARD]	SD/SDHC カードを挿入してください。
	SD/SDHC カードに転送した音源ファイルのデータ形式は正しいですか？ [NO FILE]	MP3 形式の音源ファイルを使用してください。(P. 7)
	SD/SDHC カードのフォーマット形式は正しいですか？ [NO FILE]	FAT 形式でフォーマットしてください。NTFS/exFAT は非対応です。(P. 7)
SD/SDHC カードが挿入できない。	本機の中に SD/SDHC カードが入っていませんか？	SD/SDHC カードを取り出して下さい。
	SD カードを裏表逆に挿入していませんか？	SD カードのレーベル面を上にして挿入してください。

# 外觀寸法図

単位 :mm



※ ( ) 内は参考寸法値です。

# 仕様

電源	DC24 V (別売の AC アダプターから供給)
消費電流	330 mA 以下
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz
歪率	0.04% 以下
出力	ライン : 0 dB * ± 3 dB、10 kΩ、RCA ピンジャック ヘッドホン : 10 mW、32 Ω、φ 6.3 ホーンジャック (3P : ステレオ)
S/N 比	85 dB 以上
チャンネルセパレーション	70 dB 以上
C/D 部	ディスク : 12 cm オーディオ CD (CD-DA)、CD-R、CD-RW ※ 8 cm は不可 ※ ギャップレス再生は非対応 ファイル保存数 : オーディオ CD 最大 99、MP3 最大 999 (CD-R/RW) ※ メディアの容量およびファイルに依存 フォルダー識別数 : MP3 最大 255 ※ ルートディレクトリーを含む 音声圧縮伸張方式 : MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3) サンプリング周波数 : 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz ビットレート : 32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320 kbps スピード可変範囲 : -15 ~ +15% 選曲 : 前後 1 曲、次フォルダー先頭曲
S/D/USB 部	メディア : SDA 準拠 SD/SDHC カード (最大 32 GB) ※ SDXC カードは除く USB マスストレージクラス準拠 USB メモリー (最大 32 GB) ファイルシステム : FAT16、FAT32 ファイル保存数 : MP3 最大 9999 ※ メディアの容量およびファイルに依存 フォルダー識別数 : MP3 最大 999 ※ ルートディレクトリーを含む 音声圧縮伸張方式 : MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3) サンプリング周波数 : 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz ビットレート : 32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320 kbps スピード可変範囲 : -15 ~ +15% 選曲 : 前後 1 曲、次フォルダー先頭曲
表示機能	動作表示 : 液晶表示、バックライト : 発光ダイオード、青
機能	再生モード (1 曲リピート、フォルダーリピート、全曲リピート、全曲ランダムリピート、全曲ランダム再生、イントロ再生、全曲再生)、プログラム再生、スピードコントロール、経過時間表示、一時停止、スキップ、早送り/早戻し、プログラム登録・編集・消去
使用温度範囲	0 ~ 40°C
仕上げ	パネル、ケース : 表面処理鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、半艶、塗装
寸法	482 (幅) × 44 (高さ) × 211 (奥行) mm
質量	2.7 kg (本体のみ)

\* 0 dB = 1 V

## ● 付属品

リモコン .....	1
ラック取付ねじ .....	4
ゴム足 .....	4

## ● 別売品

AC アダプター : AD-246

## アフターサービスについて

### ● 保証書について

保証書は裏表紙にあります。必ず「販売店・購入日」など記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

無償修理の保証期間は、お求めの日から 1 年間です。(一部消耗品を除く)

### ● 修理を依頼される時

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お求めの販売店にご連絡ください。  
※ 保証期間中の修理は保証書の規定に従って、お求めの販売店で無償にて修理をお受けいたします。

ご連絡していただきたいことは、お客様のご住所・お名前・電話番号、製品名・品番・購入日、  
故障または異常の状況（症状）

※ 保証期間が過ぎている場合は、お求めの販売店にご相談ください。ご希望により有料で修理します。  
アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。

# 機器保証書

品番	製造（ロット）番号 CD-100SU		この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証期間	お買い上げ日から1年間 ただし、消耗部品を除く（詳しくは下記に記載）		
お買い上げ日	□□□□年□□月□□日		
お客様様	ご住所	□□□□□□□□ TEL ( ) -	住所・店名・TEL 販売店
	お名前	様	

上記保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記をよくお読みください。

## <無償修理規定>

- 上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った、正常な使用状態で万一故障した場合、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
- 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。
- 無償修理期間内でも、次の場合には有償修理になります。
  - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
  - 当社が指定する消耗品部品（各取扱説明書ご参照）の交換の場合。
  - お買い上げ後の輸送、移転、落下、水没などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス）や異常電圧、その他使用に伴う自然摩耗などによる故障および損傷など。
  - 本商品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
  - 保証書のご提示がない場合。
  - 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句が書き換えられた場合。
- テープデッキ、CD/DVD/BDユニットの保証期間は、お買い上げ日から6カ月といたします。
- 記録媒体を搭載または使用する商品の場合、いかなる場合においても商品の設定情報や記録内容については保証いたしません。
- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

- ※ 本商品の故障に起因する付随的・派生的損害についての補償はお受けできません。
- ※ この保証書は本書に明記した期間および条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお問い合わせください。
- ※ 当社は、皆様から提供された個人情報について、その重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律を遵守することにより、個人情報の適正な収集、利用、安全管理を行います。当社の個人情報の取り扱いに関する詳細は、<https://www.toa.co.jp/privacy.htm> をご参照ください。
- ※ お客様情報は商品を安全にお使いいただくための修理目的のほか、サービスのご案内や買い替えのご提案に利用させていただく場合があります。また、当利用目的の範囲内において、サービス会社および販売店などの第三者にお客様情報を提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<b>TOA お客様相談センター</b>	フリーダイヤル <b>0120-108-117</b> ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日除く)		

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

E01-ER100C-391